



みねかえで しるし あお  
**峰楓 徽章と仰ぎ**

第3号

【発行人 教頭(中原)】

## 「お天道様は見ている」…自分の意志 ～2学期始業式～

27日間に及ぶ夏休みを終え、8月22日(月)から2学期がスタートしました。本校では、小学校での育ちを生かしながら、「生徒を管理する学校」を脱し、「生徒の主体性を生かした学校づくり」を目指しています。始業式のために、体育館へ自由に生徒一人ひとりが思い思いに集まり、教師の指示がなくとも、整然と並ぶ姿に、生徒たちの自立的な成長を感じました。

### 学校長 挨拶

夏休みが終わりました。7月中旬、コロナ感染が急に拡大し、本校もいろいろと対応が迫られる中で1学期は終了し、いくつかの学級は、学級閉鎖中の状態で夏休みを迎えました。夏休み当初はしばらくの期間、部活動ストップ、また図書館や寺子屋使用をストップと、いろいろと予定通りならない部分もありました。夏休み中、皆さん自身が感染したり、家族の方が感染したことによる濃厚接触者となったりという人もいたと思います。

ところで今年の夏休みは、岡谷で集中豪雨により中学生や小学生の命が奪われる災害が発生しましたが、今年も日本各地で集中豪雨による災害が起きてしまいました。人間の力ではどうにもできない自然の力を感じるこの頃です。

そんな夏休みでしたが、本校にとってはうれしいニュースが8月5日に飛び込んできました。それは、女子バスケットボール部の皆さんが、松本市で行われた北信越大会において準優勝を勝ち取り、全国大会出場となったことです。北信越準決勝では石川県1位のチームに残り50秒、4点差で負けていたそうです。そんな厳しい状況でしたが、驚異の粘りで同点に追いつき、延長戦を制して全国大会の切符を手に入れたそうです。素晴らしいですね。

北海道での全国大会では、20日に予選リーグが行われました。1試合目は愛知県の弥富北(やとみきた)中と戦い、6点差で勝利。2試合目は北海道の東月寒(ひがしつきさむ)中と戦い惜しくも負けてしまいました。3校が1勝1敗で並びましたが、得失点差で決勝トーナメントには残念ながら進出できませんでした。しかし、全国での1勝は本当に誇れる結果だと思っています。

さて、2学期のスタートにあたり今日はこの1枚の写真【写真①】についてお話しします。8月15日の朝にとった写真です。生徒昇降口南東にアルミ缶回収のコンテナが3つ置いてあります。生徒の皆さんだけでなく保護者の方々、地域の方々も本校のアルミ缶回収に協力してくれています。ビニル袋に入れてたくさんのアルミ缶を持ってきてくださる方がいます。コンテナの横には、アルミ缶を入れてきたビニル袋を入れるために2つのごみ袋がかけられています。

もう少し近くでとった写真【写真②】がこれです。袋の中に、お弁当を食べたゴミが入っていました。「ここにはゴミは入れないでください。」そんな張り紙はどこにもありません。何も書いてないけれど、誰が考えても、ここに入れるものはアルミ缶を持ってきた袋です。そんな中に入れられたお弁当を食べた後のゴミ。このゴミはどのような状況で入れられたのでしょうか。

これは私の勝手な予想です。何かの折に学校の昇降口あたりで数人の人がコンビニで買ったお弁当等を食べたのかな。そして、目に入った袋にそのゴミを入れた。ただそれだけなのでしょう。ここで考えてほしいことがあります。それは、ゴミを袋に入れた人は、そんなに罪悪感はないにしても、「ゴミを入れる袋ではない」とはわかっていたと思うのです。「わかっていた」けれど、「まあいいや」という軽い気持ちでやったのかなと勝手に推測します。

日本には昔から「お天道(てんと)様は見ている」という言葉があります。周りに人がいないからちょっとした悪いことをしていいのではないのです。そんなことを伝えるためでしょうか。「お天道(てんと)様は見ている」、そんな言葉があるんです。外国では「神様が見ている」ということになるのか



【写真①】



【写真②】

などと思います。人が見ていればやらないこと、見ていないから「いいや」ではないのです。「お天道様」はじっと皆を見ているのです。もしかして、お天道様は、みんなの中のもう一人の自分とも考えられるのかもしれないですね。

私が伊那中生に願う姿として、誰かが見ているとか、見ていないとかではなく、自分自身がいけないと思ったことは、自分の意志でやらない 理屈ではなく、いけないことはやらないそんな心をぜひすべての人が心の中に持ってほしいと願います。時として、「まあいいや」と思うのも人間です。私にもそんな気持ちが生じることもあります。でもその時、思い出してください。「お天道(てんと)様は見ている」という言葉を。

今日は、8月15日にふと見かけた一コマから話をさせていただきました。

暑い夏から2学期は始まりますが、終了の12月の終わりは寒い冬になります。2学期は長い学期です。その中では、日々の学習だけでなく、学校や学年のいろいろな活動が計画されています。コロナの状況で、様々な変更はあるかもしれませんが、できる限りやれることはやりたいと私は考えます。

一人一人が様々な場面で成長できる学期になることを期待します。

有 賀 稔

生徒昇降口にあるアルミ缶回収のコンテナは、地域の皆様のご協力のおかげで、日に日にいっぱいになっていきます。年間を通してご都合のよい時にお持ちいただいております。集まったアルミ缶を資金に文化祭のパフレットを作成します。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

## キーワードは「探究」～マイチャレンジ発表会～

自ら求め学ぶ力・自分の人生を切り拓く力の育成を目指し、3年前に始まった長期休業中の探究プロジェクト型学習「マイチャレンジ」。夏休みの取組の発表会を9月16日(金)に行いました。「発表するまでがマイチャレンジ」を合言葉に、聞いている人の興味を引いて、自分の最も伝えたいことを伝える。問いかけたりクイズを出したり、自分たちでアイデアを出し、工夫して伝え合いました。伊那北高校の先生方も参観し、中高で連携して「探究」をキーワードに教職員も学び合っています。

また、生徒会が中心となって開催する文化祭「第75回 泉が丘祭」(9月30日・10月1日)では、地域や保護者、高校の皆さんを講師に、生徒たちが「わくわくドキドキ」感をもって体験する「探究講座」を今年初めて企画しています。自分たちで新しい道を創造する伊那中生ならではの取組を、地域の皆さんと共に創り出していきます。

なお、マイチャレンジの作品は本校2階中央渡り廊下へ展示してあります。ご来校の際に、ぜひご覧ください。



### 3年間のマイチャレンジを振り返って

自分が興味あることを徹底的に調べたり考えたりすることによって様々な知識を身に付けることができました。生活しているときには、そこまで気にならないことも、なぜそうなるのかなど考えるようになったりして、すごく周りのことに関心を寄せられるようになりました。

(3年生徒)

## お知らせ

### コロナウイルス感染の拡大防止へのご協力について

保護者の皆様には、コロナウイルス感染の拡大防止にご協力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。引き続き、ご家族に風邪の症状が出た場合にも生徒の登校を控えていただくとともに、心配事が生じたり、本人やご家族が感染者あるいは濃厚接触者となったりした時には、下記の通り対応しておりますので、学校へ速やかにご連絡をお願いいたします。

(1)電話対応 平日7:50~19:00

(2)夜間や休日における連絡先【伊那中学校緊急連絡電話】 070-4127-6087

なお、保護者からの欠席連絡が、オクレンジャーを使ってできます。対応時間は6:00~8:30です。